

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進等に係る事業)

令和6年1月31日

協議会名: 常陸太田市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 利便増進計画推進事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
<p>「常陸太田市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、施策の実施及び施策を推進するための効果検証を行っている。</p> <p>【施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通利便に係る効果検証(各交通事業者からデータを収集・分析中) 乗り方教室の開催(令和5年11月24日、27日、12月7日、令和6年1月12日、26日実施) 路線バスを利用したバスツアーの開催(令和5年11月17日、22日、25日実施) チラシの作成・配布(バスツアー開催チラシ、中学生への路線バス啓発チラシを作成・配布) SNSでの啓発(中学生フリー定期券の活用等) バスマップ及び時刻表の更新・配布(最新バスマップをHPに掲載) バスロケーションシステムの運用・周知(チラシの配布、HPへの掲載) 	<p>計画に位置付けられたとおり、事業が適切に実施される見込みである。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート等の結果によると、路線バスに乗ることがない、乗り方が分からないといった市民が多いことから、乗り方教室の開催や啓発チラシの配布、SNS等を積極的に実施し、路線バスの魅力を発信し、若年層の利用促進に努める必要がある。 ドアツードアサービスの利用を望む高齢者等が多いことから、乗合タクシー等の充実を図る必要がある。 茨城交通路線バスICカードの統合及びシステム改修が実施されることにより、インターネットで残高チャージが可能となる等、利用者の利便増進が図られるが、デジタル化の推進により高齢者が取り残されないよう広報・周知等が必要になる。 運転士確保に向けた新たな施策等の立案が必要である。

<p>地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)</p>	<p>事業が計画通りに適切に実施されており評価する。今後もSNSの活用による利用促進や、交通データを効果的に活用するなど、効率性・利便性の向上を図っていただきたい。</p> <p>また、今後、計画推進の検討にあたっては、第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な目標を立て、どこまで出来ているか数字で出す事が重要。 収支率についてはこだわり過ぎず、本当に必要なものをどのように応援していくかを見極める参考指標の一つとすることが望ましい。 住民、利用者とのコミュニケーションを取って、日々変わる環境に対応していくようなPDCAが重要。
--	--